

タイトル

噴火災害を語り継ぐメモリアルデー

今から29年前、雲仙普賢岳の災害は、旧深江町と島原市をはじめ、島原半島に甚大な被害をもたらしました。9月15日には、当時の大野木場小学校の校舎・体育館を火砕流によって焼失しました。

大野木場小学校では、毎年9月15日をメモリアルデーとして、噴火災害の記憶を語り継ぐとともに、自然災害に対する防災意識を高める機会としてきました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して下記の日程で開催します。

記

日 時:9月15日(火) 午後1時55分~2時40分

場 所:大野木場小学校 体育館

参加者:大野木場小学校 児童112名

規模縮小のため、保護者と来賓は参加せず、児童と教職員のみで実施する。

内 容:災害体験者の講話

歌「生きていたんだね」 全校合唱

備 考:実施計画添付

担当部署	大野木場小学校	担当者	山外 誉
直 通	0957-73-6713	E mail	ohnokoba-es@minami-shimabara.jp
詳しくは ☎		検索ワード	大野木場小学校
担当者 連絡先	0957-73-6713		

大野木場メモリアルデー2020 実施計画

1. 趣 旨

雲仙・普賢岳の災害は、旧島原市・深江町をはじめ、島原地方全体に甚大な被害をもたらした。安全・安心な町づくりを進める中で、旧大野木場小学校の校舎・体育館等が火砕流により焼失した9月15日をメモリアルデーとし、これまでの学習の成果の発表の機会とするとともに、メモリアル集会を通して、噴火災害の記憶を後世に伝える。また、砂防事業の重要性や防災に対する意識を高める機会とする。

2. 期 日

令和2年9月15日（火） 13：55～14：40

3. 場 所

南島原市立大野木場小学校 体育館

4. 日程及び内容

メモリアルデー2020 司 会・・・企画委員会児童2名	
13：55～13：57	はじめの言葉（司会の児童）
13：57～14：03	校長挨拶
14：03～14：05	講師紹介（校長） / （機器の準備：職員）
14：05～14：30	講話 長門 亜矢さん（雲仙岳災害記念館職員）
14：30～14：34	歌「生きていたんだね」全校合唱
14：34～14：40	お礼・終わりの言葉（司会の児童）